

教科	科目	学年	単位数	使用教科書	主な使用補助教材
国語	言語文化	1	3	精選言語文化（東京書籍）	体系古典文法 九訂版 精選漢文 四定版 わかる・読める・解ける 古文単語330

1 科目の目標と評価の観点

目標	言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
評価の 観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画と観点別評価基準

学習内容	学期	学習のねらい	観点別評価基準		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【随想】読む 「人生初季語」	1 学期 （ 3 7 ）	・筆者の見解に注意して，随筆を読み味わう。	・言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，文化的背景について理解を深め，語感を磨き語彙を豊かにしている。	・文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えてる。 ・作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈している。	・筆者のものの見方や感じ方を捉えて随筆を読み味わい，筆者の見解を捉えようとしている。 ・自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，筆者の思いについて考えようとしている。
【古文入門】読む 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」		・歴史的仮名遣い、品詞、活用、について理解する。	・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。	・文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	・歴史的仮名遣い、文語の品詞、活用、古典特有の表現について理解し，学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。
【漢文入門】読む 「訓読の基本」 「故事成語一三編」		・漢文の特色を知り，訓読のきまりを理解する。	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	・作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	・漢文の特色や訓読のきまりを理解し，見通しを持って，古典を学ぶ意味について考えを持つようとしている。
【随想】読む 「徒然草」		・随筆に表れた作者の考えを，叙述を基に的確に捉える。	・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。	・文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。	・文語のきまりや古典特有の表現を理解し，学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。 ・表現の特色を理解しながら作品の内容を解釈し，学習課題に沿って『方丈記』で描かれる「無常観」について考えようとしている。 ・作者のものの見方や感じ方，考え方を捉えたり，自分と関係づけて考えたりしようとしている。
定期考查	2				

学習内容	学期	学習のねらい	観点別評価基準		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
【詩歌】読む 「こころの鉦—短歌抄」 「秋の航—俳句抄」	2 学期 (37)	・短歌、俳句独自の特徴と表現効果を理解し、言葉に込められた情景や心情を読み取る。	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	・短歌・俳句の特徴や表現効果を理解し、学習課題に沿って、それぞれの歌・句に込められた情景や心情を読み取ろうとしている。 ・詩の表現の仕方や特色を捉え、学習課題に沿って、詩に込められた作者の心情を理解しようとしている。
【歌物語】読む 「伊勢物語」		・歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。	・言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	・歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、学習課題に沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えようとしている。
【日記】読む 「土佐日記」		・表現の特色を踏まえて、作品に込められた意図を考える。	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	・本文の表現の特色を理解し、学習課題に沿って、作品に込められた意図を考えようとしている。
【漢詩】読む 書く 「絶句と律詩—八首」 「訳詩を書く」		・漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ。	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。	・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。	・漢詩の形式ときまりを理解し、学習課題に沿って、漢詩に描かれた情景や心情を読み取り、優れた表現に親しもうとしている。 ・言葉の選び方や表現の仕方を工夫し、学習課題に沿って、元の漢詩の魅力が伝わるように訳詩を書こうとしている。
【和歌】読む 書く 「万葉集」 「古今和歌集」 「短歌を作る」		・さまざまな内容や表現の和歌を読み取り、解釈を深める。	・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。	・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。	・短歌の構成や語句などの表現の仕方を工夫し、学習課題に沿って、自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って効果的に書こうとしている。
定期考査	2				
【作り物語と軍記物語】読む 「竹取物語」	3 学期 (26)	・軍記物語特有の表現に注目しながら、登場人物の描かれ方を読み取る。	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	・学習課題に沿って、登場人物の描かれ方を読み取ろうとしている。
【文】読む 書く 「雑説」		・調べて得た情報を的確に整理して、人物像が伝わる名鑑を作る。	・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。	・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。
【詩歌】読む 書く 「小景異情」 「一つのメルヘン」 「I was born」		・桜に関して書かれた多様な形式の作品を読み比べながら、日本文化における桜のありようを探る。	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	・詩の表現の仕方や特色を捉え、学習課題に沿って、詩に込められた作者の心情を理解しようとしている。
定期考査	1				